

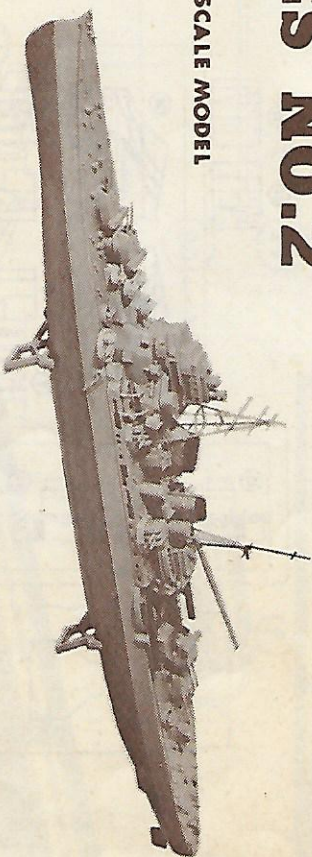
三旧日本海軍巡洋艦シリーズ

JAPANESE NAVY HEAVY CRUISER SERIES NO.2 - MAYA - 1/400 SCALE MODEL

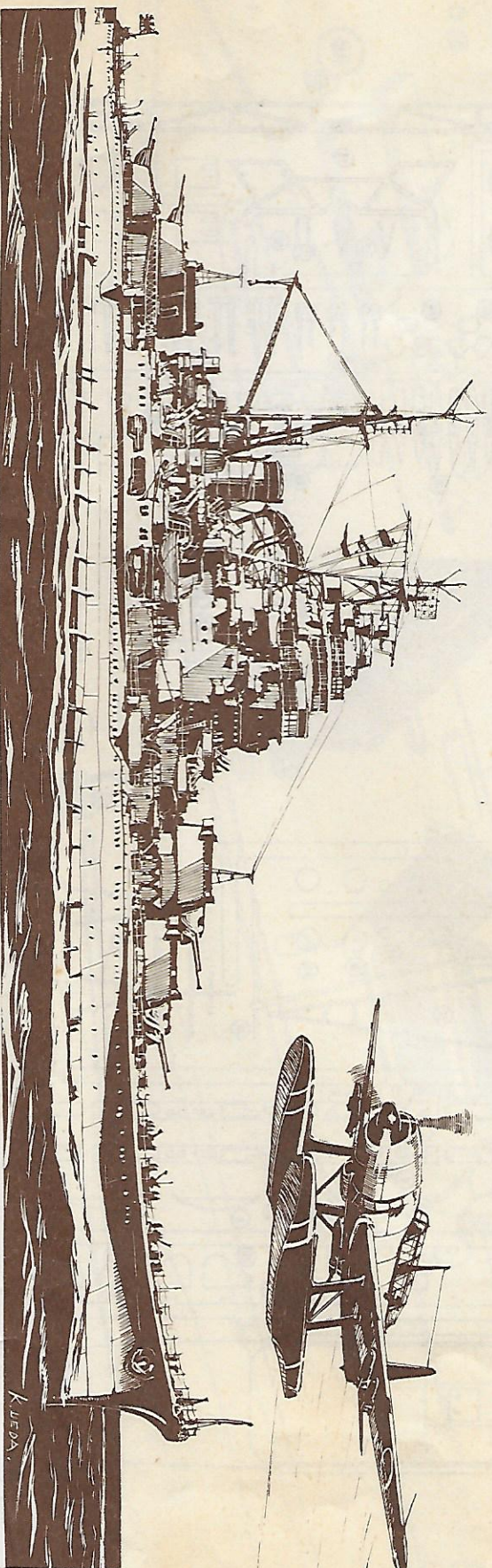
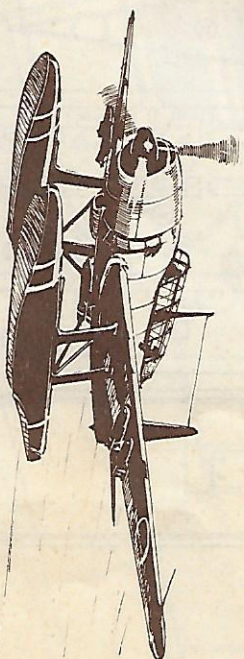
摩耶の要目と戦歴

★基準排水量 9,850トン 公試排水量 12,986トン 改造後基準排水量13,200トン
最大巾18.03メートル 水線長20,167 速力35ノット
備砲 20センチ・10門、12センチ高角砲 4門 発射管61センチ 8門 搭載機 3機
起工 昭和3年12月4日 進水 昭和5年11月8日 完成 昭和7年6月30日
昭和19年3月改装。3番砲塔を撤去し対空兵装を強化した。

★南方作戦において南方部隊の一艦として参加、次いでアリューシャン群島攻略作戦、南太平洋海戦、ツングク沖海戦及び第3次ソロモン海戦に参加した。昭和18年11月ラバウルで爆撃を受け中破し、その修理期間内に改装の一部を完結し主砲塔一基を撤去し対空兵装を根本的に強化した。昭和19年6月19日マリアナ沖海戦に参加して小破。昭和19年10月23日、栗田艦隊の一艦としてレイテ湾海戦に参加中米潜水艦テースの魚雷4本を受けて沈没した。

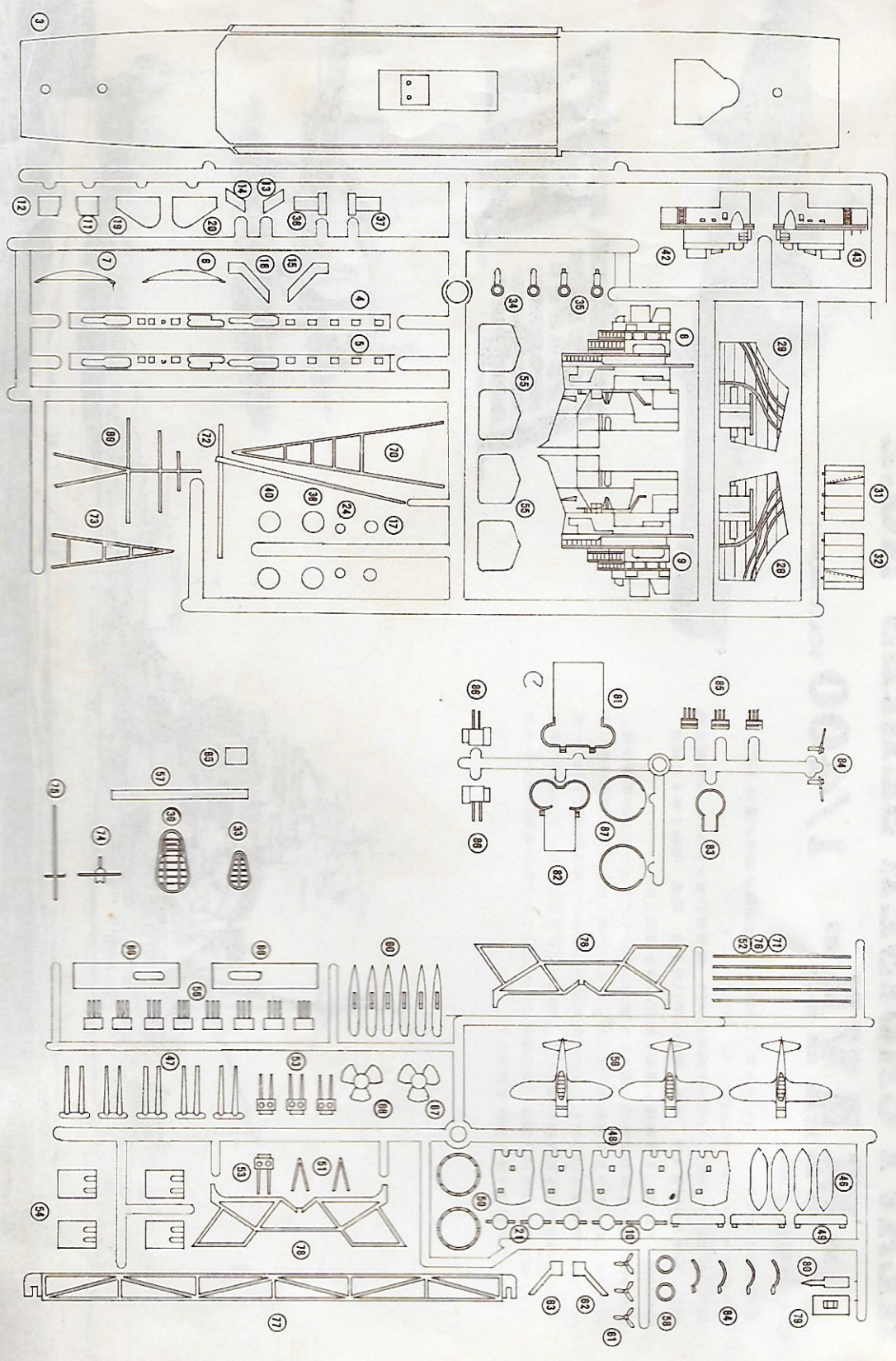


摩耶



KUREA

1 部品図



2 動力部

船体を組立てる前に動力装置を取りつけます。

順序

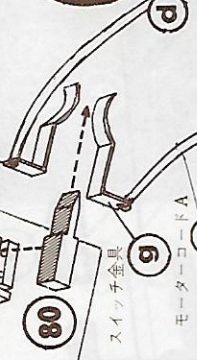
- ① モーターにゴムジョイント①を取りつけ反転キヤ②に連結します。
- ② 反転ギヤのスクリュュー・シャフトの連結部にスプリング・ジョイント③を取りつけます。
- ③ モーターと反転キヤ②をそれぞれのとおりつけ場所にはめ込み凸部を奥へはめて固定させます。
- ④ スクリューシャフト④の先端を奥へはめて固定させます。
- ⑤ グリスホックにクリス又はホワードを入れてキャップ⑤をつけておきます。
- ⑥ スクリューシャフトとスプリングジョイント⑥をつなぎます。
- ⑦ シャフト相見⑦をシャフトが奥に回転する側に取りつけます。

配線の仕方

モーターコード⑧をスイッチ金具⑨につなぎます。
モーターコード⑧を電池金具⑩につなぎます。
電池金具⑩をスイッチ金具⑨につなぎます。
電池金具⑩と⑨をつなぎます。

8 図

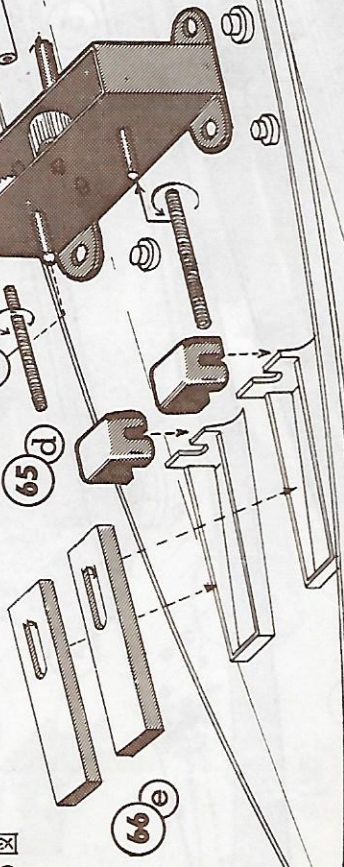
※矢印の方向にシャフトをまわしてジョイントにはめて下さい。



4 図

D 図

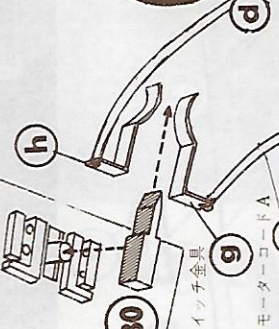
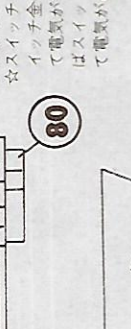
※矢印の方向にジョイントをまわして反転キヤにとりつけます。



7 動力部

船体上部の表側からスイッチ⑨を通し船体上部の裏側で⑩にはめ込み接着します。次にスイッチ金具⑪、⑫に配線をします。出来たら図のように裏側にはめ込みます。出来たら、スイッチ金具はずれないようにセメダインをつけて固定します。

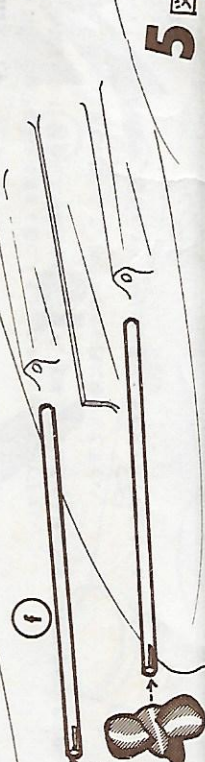
☆スイッチを前に押しせばスイッチ金具が左右に別れて電気が切れ、後へ引けばスイッチ金具が接触して電気が通じます。



モーターコード A

スイッチ金具

E 図



F 図

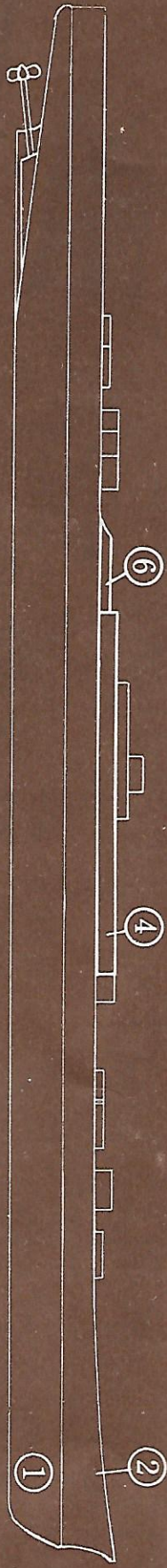


5 図

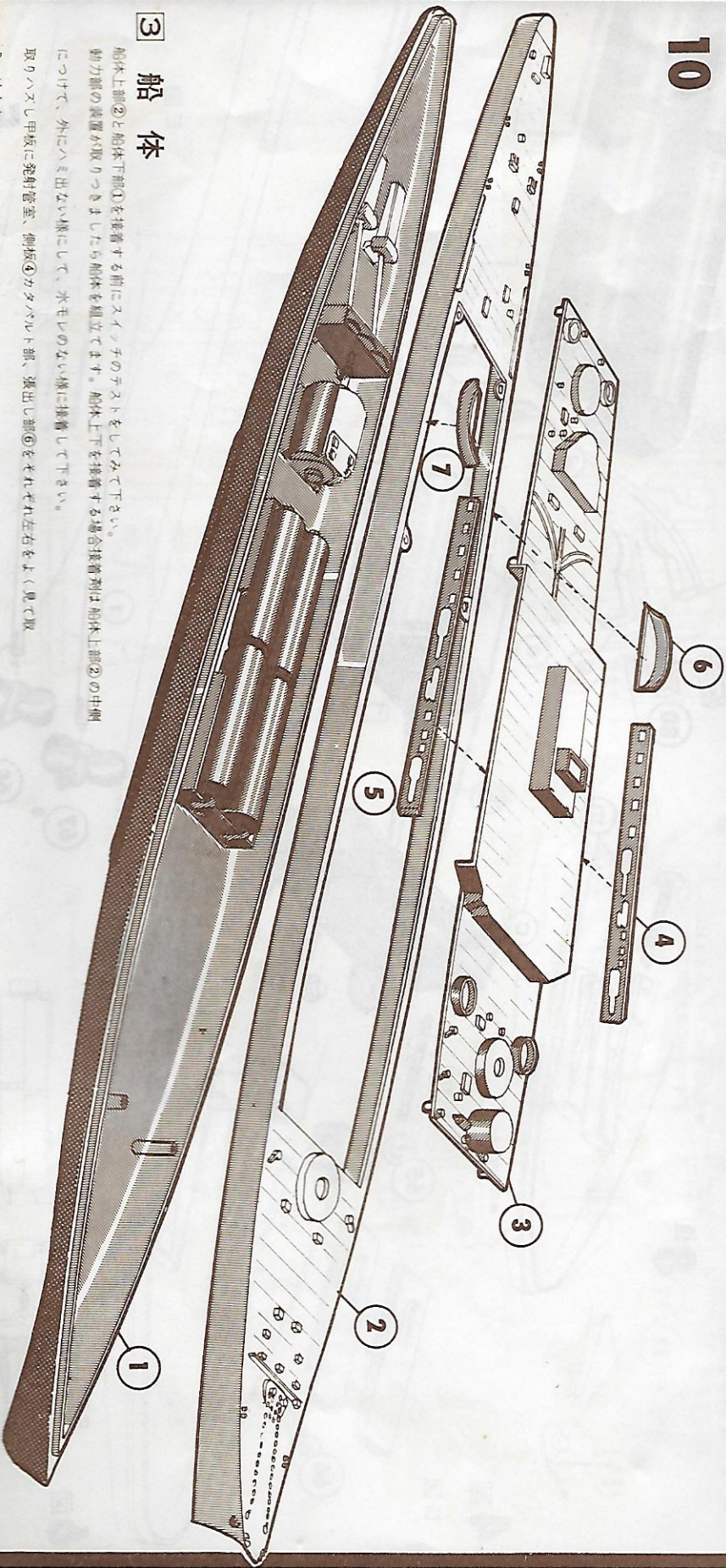
6 図

3 船体

9



10



3 船体

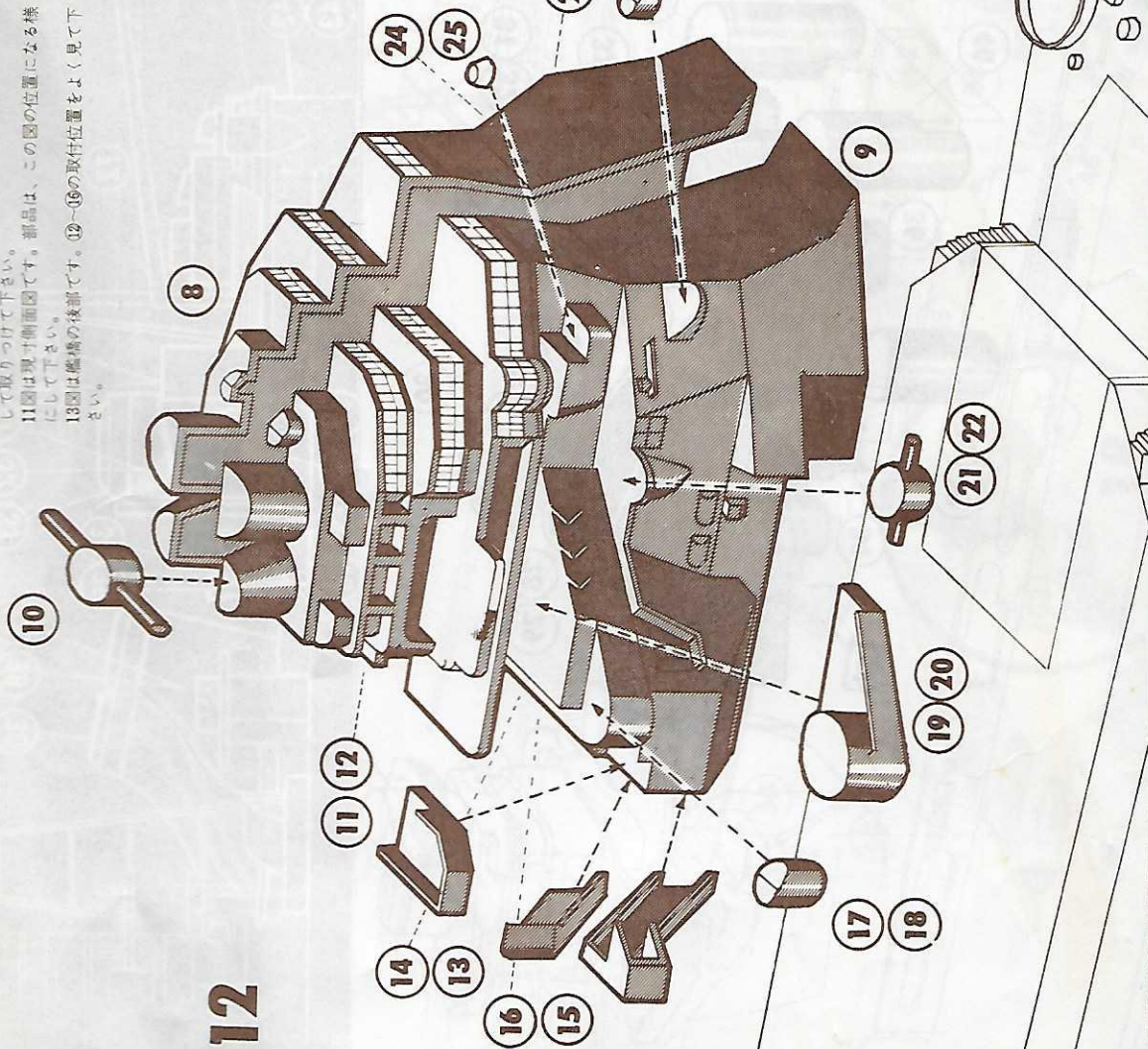
船体上部②と船体下部①を接着する前にスリッチのテストをしてみてください。
 動力部の設置を取りつきましたら船体を組立てます。船体上下を接着する場合は接着剤は船体上部②の中間
 につけて、外にハミ出ない様にして、ホモレのない様に接着して下さい。
 取りハズし甲板に発射管室、側板④カタバルト部、張出し部⑥をそれぞれ左右をよよく見取
 りつけます。

4 艦橋

艦橋

4

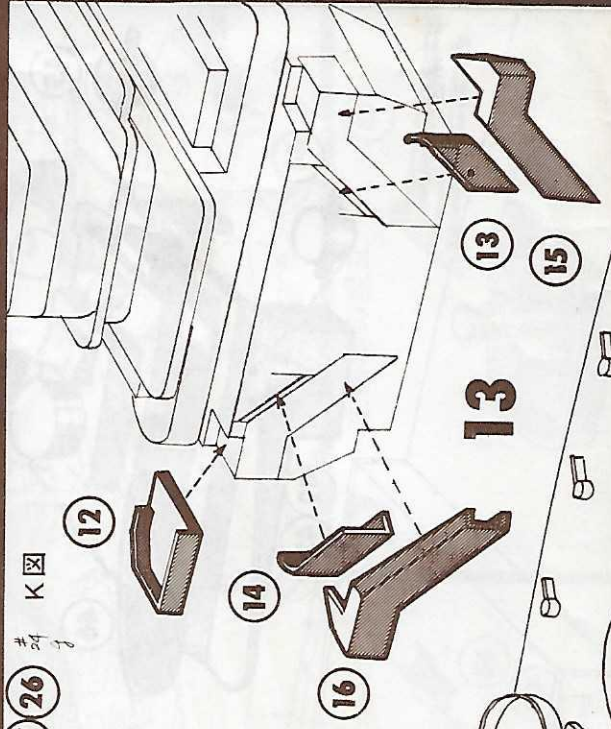
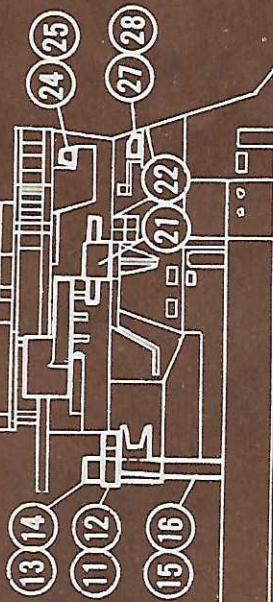
艦橋は、左右に別れていきますからすれのない様に接着します。0002、0003、0006、0009は左右ありますから注意して取りつけて下さい。
 11図は現対面図です。部品は、この図の位置になる様にして下さい。
 13図は艦橋の後部です。⑭-⑯の取付位置をよく見て下さい。



11

10

12



K

12

27 26

12

14

16

13

13

15

21 22

19 20

17

18